

		5		4		3									
⑥	批判	①	服従	①	ケ	①	エ	問九	ウ	問六	ア	問三	1		
					55		50		48	(正答)	イ	40			
⑦	法律	②	展覧	②	キ	②	ア	問十	エ		ウ	2			
					56		51		49	オ	3	41			
⑧	検査	③	連綿	③	ア	③	オ	問七	ウ	45	ア	42			
					57		52		46	問八	ウ	問四	それ		
⑨	厚	④	看板	④	ウ	④	ウ			46	それ	それ			
					58		53			国	際	の	43		
⑩	群	⑤	君臨	⑤	カ	⑤	イ			際	的	な	問五	イ	44
					59		54			意	合	意			
										47					

(配点)

①〔問二〕各2点、〔問三〕各3点、  
〔問八〕7点、他各5点  
②〔問三〕各2点、他各5点  
③④⑤各2点 } 計150点

# 小学六年

# 国語

## 解答と解説

1

問一	あ	21
	き	
	ら	
	め	
	ない	
	姿勢	
問二	i	22
	エ	
	ii	23
	オ	
	iii	24
	ア	

問三	②	25
	イ	
	⑦	26
	ウ	
問四	自己防衛のため	27

問五	ア	28
問六	ウ	29
問七	ウ	30

問八			
に	は	こ	こ
な	が	と	れ
り	ん	に	ま
た	ば	こ	で
い	っ	だ	は
と	て	わ	勉
思	ど	り	強
っ	ち	が	や
て	ら	な	バ
い	も	か	レ
る	で	っ	ー
。	き	た	が
	る	が	で
	よ	、	き
	う	今	る

問九	イ	35
	オ	
問十	攻め	36
	る	
	勇	
	気	

(解答) 順不同

2

問一	1	37
	日	
	常	
	会	
	話	
	の	
	2	38
	イ	
問二	エ	39

【解説】

1 まはら三桃の『つる子さんからの奨学金』（借成社）から出題しました。

中学三年生のわかばは、日々バレーボールの部活と高校受験の勉強に向き合って過ごしています。同級生の優菜や麻耶と同じ塾に通いながら、目標に向けて努力していくわかばの様子が描かれている文章です。

問一 B1 具体化 比較

——線①の「ひとつのこと」と「もうひとつ」は、バレーボールと勉強の二つを指しています。バレーでAチームのスパイカーに加わったわかばが、その勢いを勉強にも持ちこんでがんばっている様子を読み取りましょう。※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問二 B1 関係づけ

——適当な副詞を空らんに入れる問題です。

i わかばが勉強にやる気を出している場面です。バレーボールでAチームのスパイカーのひとりに加わったことで勉強にも一気やる気が出てきた様子に使われていますから、エ「ぐっと」が当てはまります。

ii 直前の「抗議をしつつ」に注目しましょう。「欲のないふりをして自分を守った」というすみれの指摘に対してわかばは「ひどいんですけど」と言いながらも、どこか心の中で「確かにそうかもしれない」と思っています。このことから、オ「ちくんと」が入ります。

iii 麻耶が久しぶりにわかばに話しかけてくれた場面です。

「Bクラスになったんだ。」という話題からも、麻耶がうれしい気持ちを表していることが読み取れます。したがって、ア「暗れ暗れと」が入ります。

問三 A2 知識

——語句の意味を答える問題です。辞書の意味をもとにして、文章中の意味をとらえましょう。もともとらしく書かれていても本来の辞書的な意味から外れている選択肢を選ばないよう注意しましょう。

② 「したり顔」は得意げな表情のことで、ここではすみれがいかに自分が真実を言い当てたような感じで確信めいた言い方をしていることとつながります。話し言葉における「どや顔」という表現とも関係のある表現です。

⑦ 「さとす」は漢字で「論ず」と書き、物事の道理をよく言い聞かせて相手にわからせる、という意味の言葉です。この場面では、事情をよく理解できていないわかばに優菜が事情を説明してあげています。

問四 B1 具体化 関係づけ

——線③の近くには、「欲のないふりをして自分を守った」ことの説明となるような表現がありません。すみれがわかばのこれまでの様子について語っている部分を別の場所から探しましょう。——線③からは少し離れています。線⑧の一つ前の段落でわかばがすみれに言われたことを

思いだしています。※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問五 **B1** 関係つけ

わかばは「あがった成績をみとめてほし」い一心で走っている、「明るい声で」麻耶に成績のことをたずねています。この後麻耶が見せた反応について、この時点では想像もしていないことがわかります。このことから、ア「はねるように」が入ります。

問六 **B1** 理由 比較

麻耶はわかばが見せた成績カードにすばやく目を走らせた結果、——線⑤のように顔をひきつらせ、まっ赤になっています。この場面でははっきりと書かれてはいませんが、——線⑨の後で、麻耶自身が「中間テストの順位がわかばちゃんに負けてた」と告白しています。麻耶は当然この時点で自分が負けたことに気づいていますから、ウが正解となります。ア「自分が情けなくなつた」、イ「うらやましくて仕方がなかつた」、エ「勝つたのか負けたのかわからなかつた」がそれぞれ誤っています。

問七 **B1** 理由 比較

優菜は、はっきりとではないものの麻耶の成績が良くなつたことに気づいています。その状態でわかばが麻耶に自分の成績が上がったことをうれしそうに告げるのを見て、顔をしかめているのです。後で「下手打つちやつたね」と言っていることも合わせて考えると、知らずにやってしまったこ

ととはいえ、優菜から見るとわかばの行動が配慮に欠けるものだったと思われたということになります。したがって、ウが正解となります。ア「わかばの言動も麻耶の反応も理解できる」、イ「わかばの行動が許せなかつた」、エ「二人と自分の間には大きな差があると感じて」がそれぞれ誤っています。

問八 **B2** 具体化 推論

これまでのわかばはほかの人の成績や活躍をあまり気にせず、せいぜい「できる人はいいなあ」と思う程度でした。しかし今は、「せっかくながあがった成績を落とすたくないし、部活もBチームにはもどりたいくない」と思うようになっていきます。つまり、成績や活躍に対するこだわりがない状態から、成績や活躍にこだわりたい、という気持ちに変化しているのです。変化する前と後の内容をしつかり盛りこんで書きましょう。

※設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点2点とします。

問九 **B2** 具体化 比較

——線⑨の「語尾がすこし小さくなつた」ことと「すぐに声量をもどし」たことにそれぞれ麻耶の気持ちが表示されています。前者は「それに部活をやりながらだから……」を受けて自分ががんばったことをわかばのがんばりと比べて自信をなくしかけている様子、後者は気を取り直して自分のがんばりに自信を取り戻している様子が表れています。したがって、

イとオが正解となります。

問十 **B1** 関係つけ

わかばが自分のお父さん（雅人）の発言について麻耶に伝えている場面です。したがって、わかばが雅人から何か言われた部分がヒントになるはずです。本文中で雅人がわかばに何か言っているのは、――線③と④の間の部分です。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

**2** 工藤尚悟「私たちのサステイナビリティ まもり、つくり、次世代につなげる」（岩波書店）から出題しました。

「サステイナビリティ」という言葉をとらえ直し、よりわかりやすい意味の表現にしたうえで実際にその表現に向けてどのような取り組みを行うべきかということについて述べた文章です。

問一

1 **B1** 具体化 関係つけ

「まもる・つくる・つなげる」という新たな訳語の良い点は、《1》をふくむ段落にまとめられています。「日常会話のなかでも頻繁に使う動詞」であることが、社会により広く浸透するうえでプラスに働くはずだ、というのが筆者の意見です。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

2 **B1** 具体化 比較

1と同じく、《1》をふくむ段落に「まもる・つくる・つなげる」の欠点が「表現としてやや長いのがネック」と書かれています。ネットワークとは、物事を進める上で支障となるものという意味です。したがって、イが正解となります。

問二 **B1** 知識 関係つけ

反対の意味になる二字の熟語の組として正しいものを選ぶ問題です。自然環境や遺産が②、地域の風土に根ざした民俗芸能や信仰、伝統知が③に当てはまります。片方だけ当てはまる組を選ばないように、ていねいに検討しましょう。

問三 **B1** 関係つけ

空らんにあてはまる接続詞を考える問題です。前後の内容どうしのつながりに着目し、接続詞そのものの働きと合わせてふさわしいものを選びましょう。

《1》の直前には、サステイナビリティを「まもる・つくる・つなげる」と言い換えることの利点が書かれています。直後はこれを受けて、これまで「持続可能な開発」と言われてきたものについても「まもる・つくる・つなげる」を利用して言い換えるの良いかもしれないという意見が述べられています。同じ話題について別の内容を並べて述べていることから、イ「また」が入ります。

《2》の直前には、全会一致が可能であればサステイ

ナビリティの実現がスムーズに進むだろう、と書かれています。これに対して直後では実社会においてそのような合意が取れることは非常に稀だということが書かれています。前後の内容が反対になっていることから、ウ「しかし」が入ります。

《3》の前の段落には、世界的に重要な課題でも、それぞれの立場をふまえて表現を工夫する必要があることが指摘されています。これを受け、直後ではその例として「自分事」という言葉が取り上げられています。したがって、ア「例えば」が入ります。

問四 **B1** 具体化 置換

サステイナビリティに対する考えが一人ひとり異なり、頻繁に衝突することによって何が生じるか、ということが問われています。——線④より後の部分でグレッタ・トゥーンベリさんの活動が例として取り上げられています。気候変動という人類全員に関わる問題であっても、それぞれの立場で考えることが異なり、結局は自分たちが正しいと思う内容をぶつけ合う形になってしまいうということが説明されています。このような内容がまとめられているのは、《3》の一つ前の段落にある「それぞれの立場からの異なる正義の押し付け合い」の部分です。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問五 **B1** 具体化 比較

先進国の若者を中心とした気候変動に対する社会運動は、

運動に関わった人たちが意図しない形で、既に産業化を果たし、豊かになった国がこれから豊かになることを目指している開発途上国に対して資源利用や炭素排出の制限を求めようという形になってしまっています。既に産業化を果たした国はこれまでに様々な環境負荷を生じさせてきており、自分たちはそのおかげで豊かになっておきながら、これから豊かになるうとしている国に対して資源利用や炭素排出の制限を求めています。その結果、開発途上国から不満が出た、という内容が——線⑤以降で説明されています。このことについてまとめているイが正解となります。ア「これから豊かになることを目指す開発途上国が既に産業化を果たした国から関係なく」、ウ「既に産業化を果たした国同士が話し合ううえで」、エ「要求を受け入れる国とそうでない国が分かれた」がそれぞれ誤っています。

問六 **B1** 具体化 比較

筆者は「小さな主語」の例として「私たち」という言葉を提案しています。——線⑦以降の部分で、その良い点が語られていますから、この部分と照らし合わせながら選択肢の正誤を検討しましょう。アの選択肢は本文の「イ」前後の部分と、エの選択肢は本文の「ウ」の前の部分と一致しています。

問七 **B1** 具体化 比較

ここでの「手触り」とは、自分が実際にそれに触れている、つまり自分が直接関わっているという感覚のことです。直前の「こうした話は私という一人人が日々暮らしている時間や空間とはスケールがかけ離れたものでもあり」という表現が

らも、「自分に直接関係あるように思えない」という内容が導けます。したがって、ウが正解となります。

問八 **B1** 関係つけ

⑧ 前後の内容から、⑧にはSDGsのような地球規模の共通目標のゴールになる言葉が入ることがわかります。本文中で同じような形を探すと、——線⑤をふくむ段落で気候変動という全人類に共通の課題についてのゴールとして「国際的な合意」という言葉が出てきています。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問九 **B1** 関係つけ

ぬけている文をもとの場所にもどす問題です。指示語や接続語、キーワードに注目して、ぬけている文と内容的に近い内容が書かれている部分を探しましょう。また、実際に文をもどして読み直し、内容的にふさわしいかどうかを確認しておきましょう。

今回の脱文中には「議論する時の単位をズームアウトして大きくしていく」という表現が出てきています。これに対応する表現を探すと、「ウ」の直前にある「大きな主語」がこれに当たることがわかります。また「ウ」の直後の「そうした」という指示語が前の部分を受けており、「思い切り引きの視点」という表現は、脱文中にある「ズームアウトして」という表現の言い換えであることもわかります。したがって、「ウ」が正解となります。

問十 **B2** 抽象化 比較

本文の内容と合っている選択肢を答える問題です。選択肢の内容と本文のどの部分が対応しているのかを考え、必ず本文と照らし合わせて正誤を検討しましょう。エは「イ」前後の内容と一致しています。また、ア「統一された主語を採用する義務がある」、イ「個人の行動や責任を『自分事』のように強調し意識を高めるべき」、ウ「物理的に近い空間の中でもに親しくしている相手に限定される」がそれぞれ本文の内容と合っていません。

**3** **A1** 知識

故事成語の意味を問う問題です。漢字の意味と故事成語全体の意味を関連づけながら覚えましょう。また、言葉そのものの意味だけでなく、どのような文で使われるかも合わせて覚えておきましょう。

**4** **A2** 知識 関係つけ

空らんにあてはまる擬態語を答える問題です。擬態語は特定の表現と結びつく場合が多いので、いっしょに使われることの多い言葉と組み合わせ覚えて覚えるようにしましょう。